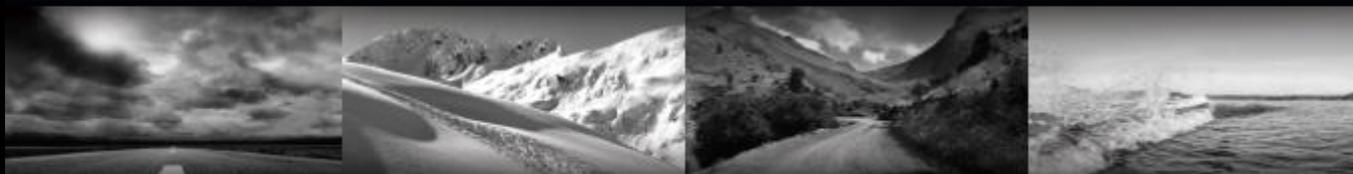




ski-doo *LYNX* *SEA-DOO* *ROTAX* *can-am*



ADVEX ヘルメット

ユーザーガイド

ユーザーガイド

ADVEX

日本語版



ADVEX ヘルメット

ご購入いただきありがとうございます

このたびは、BRP ADVEX ヘルメットをご購入いただき誠にありがとうございます。ADVEX ヘルメットは、運転の際にご利用いただける最高の製品を提供するために、当社が長年にわたり研究を重ね、開発したものです。

モジュール式ヘルメットの便利さとフルフェイスヘルメットの最高の機能を兼ね備えた本製品をご利用いただくことで、快適なライディングをお楽しみいただけるはずです。アクティブなトレイルライダーにとって理想的なこのヘルメットは、通気孔の調整が可能であるため、呼吸によって曇りが生じたりすることはありません。このヘルメットには、ノイズキャンセリングパッド、バックライト、ヒーター付きサンバイザー収納部、取り外し式ピークのみならず、Vibe 通信システムやフラッシュライトも装備されています。

当社が皆様のために開発したこのヘルメットを、どうか末永くご利用ください。

⚠ 警告

このヘルメットは、米国連邦自動車安全基準 218 (DOT FMVSS 218) もしくは国際連合欧州経済委員会の欧州規制 22 (ECE R22.06) または両方に適合しています。このヘルメットは、13 才未満の未成年用に設計されたものではありません。

安全なライディングをお楽しみください。



目次

全般	4	F. お手入れとメンテナンス	23
1. 安全情報	4	1. シェルの清掃	23
2. 最小必要要件	5	2. 内部の清掃	23
B. ヘルメット	5	3. フェイスシールドの外側	23
1. ヘルメットの各部名称	5	4. 加熱式レンズ	23
2. ヘルメットのサイズ	5	5. サンバイザー	24
3. チンカーテン	6	6. ヘルメットの点検	24
4. 微調整が可能なチンストラップ	7	7. ヘルメットの保管	24
5. プレスガード	8	G. トラブルシューティングガイド	25
6. フェイスシールド	9	H. アクセサリーとスペアパーツ	26
7. サンバイザー	10	1. アクセサリー	26
8. 磁気コネクター（eLinQ が装備されている場合）	12	2. 交換用部品	26
9. 後部ライト（eLinQ が装備されている場合）	12	I. BRP のサービス	26
10. フェイスシールドメカニズム	13	1. 修理サービス	26
11. ノイズコントロールシステム	15	2. 限定保証	26
12. インナーライナー	15	J. お問い合わせ先	27
13. インナーライナー	17		
14. 通気システム	17		
C. 着用と使用	18		
1. ヘルメットの着用方法	18		
2. 適切な着用	18		
3. ヘルメットの脱ぎ方	19		
4. 使用上の諸注意	19		
D. 走行前に	21		
1. ヘルメットの点検	21		
2. チンストラップの点検	21		
3. フェイスシールドとサンバイザーの点検	21		
E. その他の重要情報	22		
1. 改造/アクセサリー	22		
2. 凍傷	22		

全般

1. 安全情報

このヘルメットのサポートは、BRP の保証サービス、お客様が必要とされる部品、サービス、アクセサリを取りそろえている認定ディーラー/ディストリビューター・ネットワークが行っています。部品を交換する際は、保証を維持するために BRP の純正部品をお使いいただく必要があります。BRP 認定ディーラーにお問い合わせください。新しいヘルメットとそのさまざまな機能について理解するために、このユーザーガイドをご活用ください。必ずこのガイドを読み、内容を理解し、今後の参考のために保管してください。このガイドに記載されている情報や部品の説明は、発行時において正確なものです。本書で使われているイラストは、種々のアセンブリの一般的な構造を示しており、部品の正確な形状や詳細が再現されていない場合もありますが、同等または類似の機能を持つ部品が示されています。このガイドでは、潜在的な負傷の危険を示すシグナルワードとともに、下記の安全注意記号  が使用されています。

警告

危険な状況を示しています。指示に従わなかった場合、死亡事故が発生したり重傷を負ったりする恐れがあります。

注意

人のけが以外の事項に関する対処方法などを示しています。

このガイドを読むだけでは危険を排除することができません。ユーザーは、説明を理解してそれに従う必要があります。製品の品質向上と技術革新の絶えざる努力のため、BRP は何らの義務を負うことなく、製品の仕様、設計、機能、装置などをいつでも変更し、あるいは製造を終了する権利を留保します。このガイドのいずれかの部分を他の言語に翻訳する場合、翻訳の内容が正確であることを確認する必要があります。

警告

原動機付き車両の運転はきわめて危険です。このヘルメットは、頭部に限定した保護機能を発揮します。このヘルメットは、米国連邦自動車安全基準 218 (DOT FMVSS 218) もしくは国際連合欧州経済委員会の欧州規制 22 (ECE R22.06) または両方に適合しています。

しかし、考えられるすべての衝撃から着用者を保護することはできません。このヘルメットの保護能力を超える衝撃が加わることもあり、その場合は、頭部、脳、脊椎などの器官が麻痺などの重傷を負ったり、死に至ったりする場合があります。最大限の保護機能が発揮されるように、ヘルメットは頭にしっかり着用し、チンストラップはしっかり締めてください。

ヘルメットにメインバイザーが装備されている場合は、メインバイザーを完全に閉じる必要があります。ヘルメットに別の部品（ウィンドバイザー、ブレスディフレクター、ブリージングマスク、マンディブルなど）が付属している場合は、正しい位置に取り付けて、吐く息がメインバイザーに直接かからないようにしてください。

目出し帽、ネックチューブ、フェイスマスク、およびそれらの組み合わせなど、凍傷を防止する保護具を必ず着用してください。

ヘルメットの使用前に、説明書の点検手順に従って点検を行ってください。摩耗または損傷している部品は交換してください。ヘルメットを改造したり、メーカーが推奨していない物を取り付けたりしないでください。ヘルメットは、シェルの一部が破壊されることで衝撃を吸収するように設計されており、このような破壊は目視できるものではありません。衝撃がライナーに及んだ場合（目視でわからない場合があります）は、ヘルメットを処分して交換してください。ヘルメットが激しく飛ばされた場合は、損傷していないように見えても、ヘルメットを処分して交換してください。

石油製品、洗浄剤、塗料、接着剤などにより、損傷が目視できないまま、ヘルメットのシェル、ライナー、およびその他の部品が損傷したり機能が発揮されなくなったりする場合があります。ヘルメットを洗う際は、ぬるい中性の石けん水のみを使用してください。

このヘルメットに関するすべての警告および説明に従ってください。交換に関する説明については、BRP にお問い合わせください。すべての警告および説明に従わない場合、重傷や死亡事故を招く恐れがあります。

全般

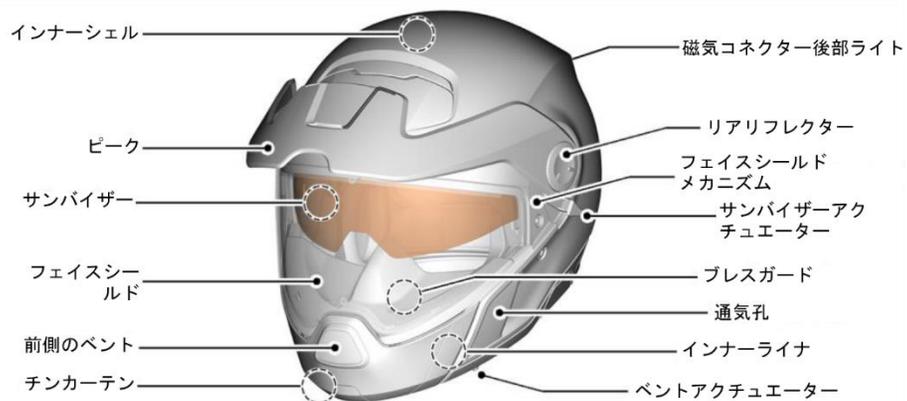
2. 最小必要要件

お手元の新しい ADVEX ヘルメットに電氣的機能（ヒーター付きバイザーなど）が装備されている場合、その機能は **12 VDC** 電源（通常は 11.5 VDC～16.5 VDC）で作動させる必要があります。

注意: 車両の電源（発電機やバッテリーなど）が、装備されている種々のアクセサリ（シートヒーター、補助ライトなど）に接続されている場合、ヘルメットの性能に影響する場合があります。ご不明点やサポートについては、BRP 認定ディーラーまたはディストリビューターにお問い合わせください。

B. ヘルメット

1. ヘルメットの各部名称



2. ヘルメットのサイズ

ヘルメットサイズ		XS	S	M	L	XL	2XL	3XL	
シェルサイズ		S			L				
頭のサイズ	mm	53~54	55~56	57~58	59~60	61~62	63~64	65~66	
	インチ	20 7/8 - 21 1/4	21 5/8 - 22	22 3/8 - 22 3/4	23 1/8 - 23 5/8	24 - 24 3/8	24 3/4 - 25 1/8	25 1/2 - 25 7/8	

B. ヘルメット

3. チンカーテン

チンカーテンは、空気の侵入や、走行中に空気がヘルメットに流入することで発生する風の不快な効果を抑えます。また、この機能は走行時のノイズ（風切り音、エンジンノイズ、ロードノイズなど）を抑えることもできます。

ヘルメットの下部分での取り付け状態は、ヘルメット内をできるだけ静かにするためにはきわめて重要です。チンカーテンがあっても、目出し帽を着用するよう推奨します。

チンカーテンの取り外し

1. チンカーテンは、あごの部分にある「矢印で示されている4つのスナップ固定部」で固定されています。



2. チンカーテンを取り外すには、チンカーテンの片側を慎重に上方向に引いて、矢印で示されているプラスチックのスナップ固定部を解除します。

3. また、チンカーテンは、首の部分の各側にある3つの「スナップ固定部」でも固定されています。首の部分にある固定部は、ヘルメットの中心に向かって慎重に引いてください。



4. 首後部からチンカーテンを引き出します。保護カラーを完全に取り外すには、首後部を慎重に、ヘルメット中央に向けて引きます。



B. ヘルメット

3. チンカーテン

チンカーテンの取り付け

1. チンカーテンの「矢印で示されている4つのスナップ固定部」を、あご部分にある所定のハウジングに挿入します。



2. 図のように、プラスチックのスナップ固定部を1つずつ押し、それぞれがあごのプラスチックストリップハウジングに嵌合するようにします。

3. チンカーテンをスライドさせて首後部に入れます。



4. 6つの「スナップ固定部」のそれぞれをトリムの三角形に合わせ、1つずつ押し、それぞれがプラスチックハウジングに嵌合していることを確認します。



⚠ 警告

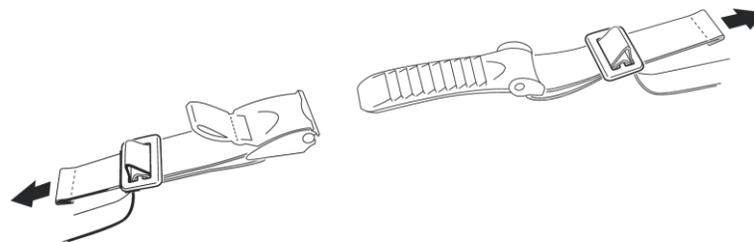
チンカーテンを持ってヘルメットを運んだり保持したりしないでください。チンカーテンが外れ、ヘルメットが落下することがあります。

4. 微調整が可能なチンストラップ

ADVEX ヘルメットの保持システムには、ラチェットファスナーが付属しています。このロックシステムは使いやすく、ヘルメット着用時にチンストラップを調整して、ヘルメットを頭にぴったりとフィットさせることができます。

チンストラップの調整

チンストラップの長さは、金属製のバックルを通してストラップの長さを長くしたり短くしたりすることで調整できます。チンストラップの長さを調整して、しっかりとフィットさせながらあごの下が快適になるようにし、コンフォートパッドがある固定ループを使用してストラップの端を固定します。



⚠ 警告

ストラップを調整する際、チンストラップを締めた状態でヘルメットが前方へ脱げないことを確認して下さい。

⚠ 警告

チンストラップの長さの調整状態を、定期的に確認してください。

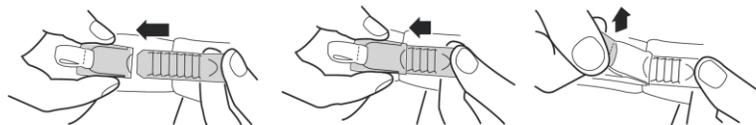
B. ヘルメット

4. 微調整が可能なチンストラップ

解除と締め込み

チンストラップファスナーを締めるには、ラチェットタングをロックンギンバックルに少しずつスライドさせて入れます。あご周りのチンストラップのフィット感が緩すぎる場合は、ラチェットタングをもう1段ロックンギンバックルにスライドさせて入れます。

チンストラップを調整するときは、チンストラップをあごにしっかりフィットさせながらも不快にならないようにしてください。チンストラップを外すには、ラチェットファスナーの赤いリボンを上へ引いてロックンギンバックルを解除します。その後、ラチェットタングをロックンギンバックルから引き出します。



警告

チンストラップが正しく締められていない状態や、調整されず正しい位置にない状態では、絶対に運転しないでください。チンストラップが正しく調整されていない、または締め付けられていない場合は、事故が発生したときにヘルメットが脱げる可能性があります。

警告

チンストラップのコンフォートパッドのみを締めるだけでは、十分な保護になりません。チンストラップは必ずしっかり締めてください。

警告

走行中はチンストラップを絶対に外さないでください。

5. プレスガード

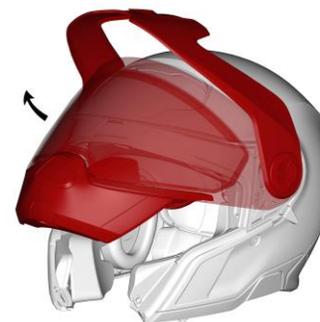
ADVEX ヘルメットのプレスガードの通気システムは、ヘルメット全体の性能や着用者の快適性に大きく貢献しています。

このシステムは使いやすく設計されており、オペレーターは曇りを気にせずにトレイルに集中することができます。

取り付けと調整

ADVEX ヘルメットの最適な性能を実現するには、プレスガードを正しく取り付けて調整することが不可欠です。

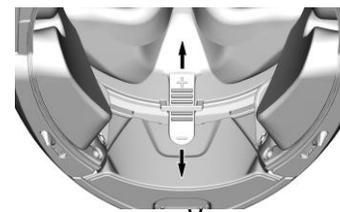
1. フェイスシールドを若干持ち上げて開けます。



2. プレスガードがしっかり取り付けられていることを確認してから、調整プルダブを引いて、顔に対するプレスガードの圧力を調整します。



3. 最適な性能を実現するには、正しく調整して、顔とプレスガード間の気密性を確保することが重要です。



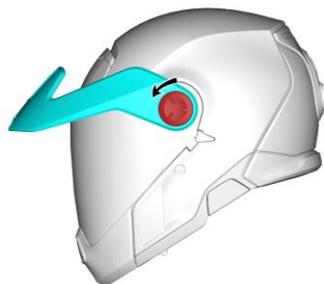
B. ヘルメット

6. フェイスシールド

フェイスシールドは、工具を使わずに簡単に交換できます。バイザーを交換するには、水平面上の柔らかい布の上に置くか、座った状態で自分の太ももの上に置くと良いでしょう。

フェイスシールドの取り外し

1. ヘルメットにピークが装備されている場合。反時計方向に 1/4 回転回し、ピークのねじを外します。

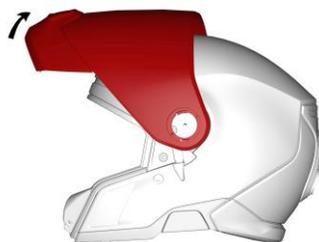


2. ヘルメットにピークが装備されている場合。図のように、ピークの側面で垂直方向に引きます。

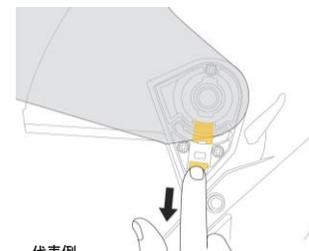


3. ヘルメットにピークが装備されている場合。反対側についても手順 1~2 を繰り返します。

4. フェイスシールドを、一番上のロック位置に動かします。

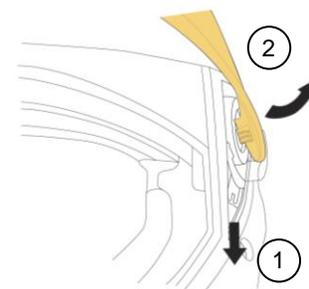


5. 片側で、フェイスシールドメカニズムのレバーを下に引き、フェイスシールドの下側タブを解除します。



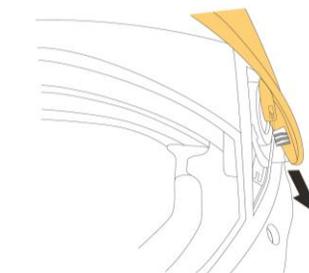
代表例

6. フェイスシールドピボットの下部部分がフェイスシールドメカニズムから外れるまで、下部部分を上に動かします。



代表例

7. その後、フェイスシールドを下に引き、フェイスシールドメカニズムから上側タブを外します。



代表例

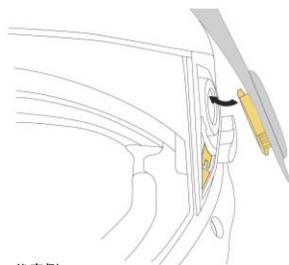
8. 反対側についても手順 5~7 を繰り返します。

B. ヘルメット

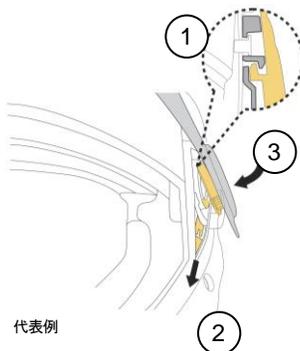
6. フェイスシールド

フェイスシールドの取り付け

1. フェイスシールドの上側タブを、フェイスシールドメカニズム上の所定位置に挿入します。



2. タブが所定位置に入ったら、フェイスシールドメカニズムのレバーを下に引き、フェイスシールドの下側部分を若干押し、下側タブを所定位置に戻します。

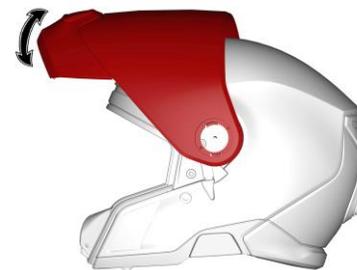


3. その後、レバーを放します。スプリングがレバーを上側位置に押し戻していること、およびバイザーが所定位置に正しく保持されていることを確認します。

4. 反対側についても手順 1～3 を繰り返します。

反対側については、フェイスシールドが若干傾くことにご注意ください。フェイスシールドの下側タブとくぼみが完全にそろっていることを確認してください。

5. 両側が所定位置に入ったら、フェイスシールドピボットをヘルメットの方に軽く押すと同時に閉じて、正常に掛かるようにしてください。



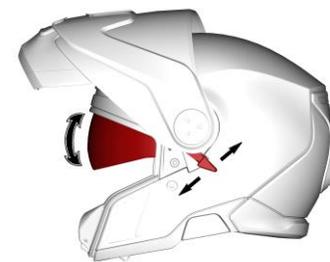
6. フェイスシールドを最大限に開け閉めして、フェイスシールドメカニズムが正常に機能していることを確認します。

7. サンバイザー

作業内容

サンバイザーは、ヘルメットの左側にあるレバーで操作します。これにより、厚手の手袋を着用していても簡単に操作できます。

レバーを後方に動かすとサンバイザーが下がり、前方へ動かすとサンバイザーがインナーヘルメットシェル内に格納され、所定位置にロックされます。



B. ヘルメット

7. サンバイザー

サンバイザーの取り外し

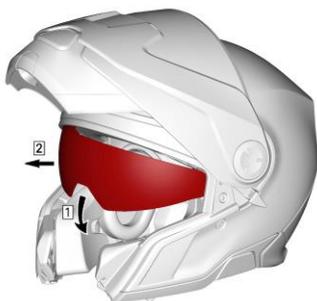
1. ヘルメットのフェイスシールドを開位置まで回します。



2. サンバイザーを下位置にします。



3. 上端が見えるまでサンバイザーを下に引きます。



4. ヘルメットを所定位置で保持し、サンバイザーの右側をヘルメットの外側へ向けて引きます。

5. 反対側についても手順3～4を繰り返します。

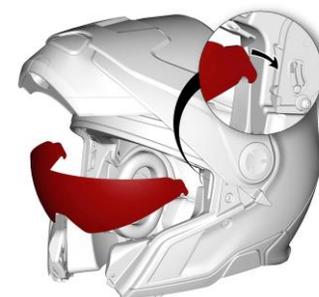
サンバイザーレベルが、バイザー取り付け時と同じ位置になります。

サンバイザーの取り付け

1. サンバイザーメカニズムが下位置になっていることを確認します。（サンバイザーレバーは後ろ位置）

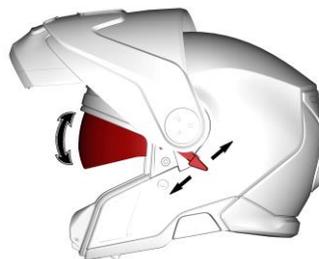


2. サンバイザーをヘルメットインナーとアウターシェル間に挿入し、両側の位置決めペグに取り付けます。



その後、フックのインナーインサートが完全に挿入されるまで、ヘルメットの内側へ向けてしっかり押します。

3. サンバイザーメカニズムが正常に機能していることを確認します。



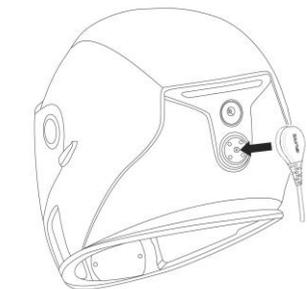
B. ヘルメット

8. 磁気コネクタ（eLinQ が装備されている場合）

1. 磁気コネクタとヘルメットの電源出力部が汚れていないことを確認します。

2. eLinQ コネクタを ADVEX ヘルメットの電源出力部に直接差し込みます。

電源出力部と eLinQ コネクタは、通常使用時に暖かくなることがあります。



代表例

注意

ヘルメットから eLinQ コネクタを取り外そうとしてコードを直接引っ張らないでください。

9. 後部ライト（eLinQ が装備されている場合）

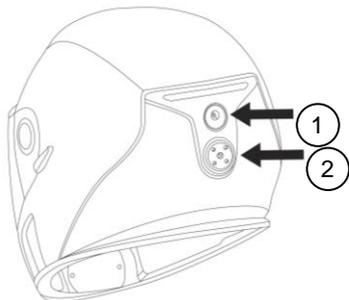
作業内容

このヘルメットには、視認性を高める後部ライトが装備されています。車両に接続してエンジンを作動させると、後部ライトは直ちに点灯します。このライトをオフにするためのスイッチはありません。

リアライトの取り外し/交換

1. リアライトのすぐ下にあるBRPロゴステッカーを取り外します。

2. #1のプラスドライバーを使用して2つのねじ（1）および（2）を取り外します。

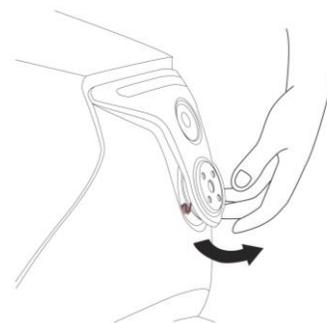


代表例

3. 後部ライトモジュールの下部をつかみ、慎重に持ち上げます。

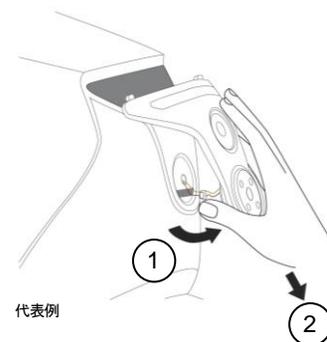
注意

配線がシェル内に固着している場合は、後部ライトモジュールに無理に力をかけないでください。損傷するおそれがあります。配線をシェルから慎重に引き出します。



代表例

4. 配線が見えたら、後部ライトモジュール上側の2つのフックが外れるまで、下部を持ち上げながら後部ライトモジュールを下に引きます。



代表例

5. その後、2つのコネクタをつかみ、反対方向に引いて外します。

注意

電気配線を直接引っ張らないでください。配線が損傷するおそれがあります。

6. 新しい後部ライトを取り、電気コネクタを接続します。

7. 2つのコネクタが差し込まれたら、配線を慎重にヘルメット内に入れます。

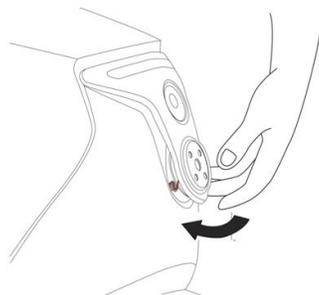


代表例

B. ヘルメット

9. 後部ライト (eLinQ が装備されている場合)

8. 図のように、2つのフックをシェルに挿入します。



代表例

9. 後部ライトモジュールを押し戻すと同時に、配線がヘルメット内に戻ったことを確認します。

10. 後部ライトモジュールが所定位置に入ったら、2つのねじを (0.3 Nm のトルクで) 締めて所定位置に固定します。



代表例

注意

ねじを締めすぎないでください。損傷するおそれがあります。

11. 新しいBRPロゴを、上側のねじの上に取り付けます。

表面が汚れていないことを確認してください。汚れていると、接着剤が接着しません。

10. フェイスシールドメカニズム

フェイスシールドメカニズムの取り外し/交換

1. フェイスシールドは、このマニュアルの「7. フェイスシールド」のセクションに記載されているように取り外します。



2. #1のプラスドライバーを使用して3つのねじを取り外します。

3. バイザーメカニズムをつかんで慎重に上げます。



代表例

注意

配線がシェル内に固着している場合は、メカニズムを引っ張らないでください。損傷するおそれがあります。配線をつかみ、慎重にシェルから引き出してください。

4. ねじにアクセスしたら、#00のプラスドライバーを使用してヘルメットの回路からメカニズムを外します。



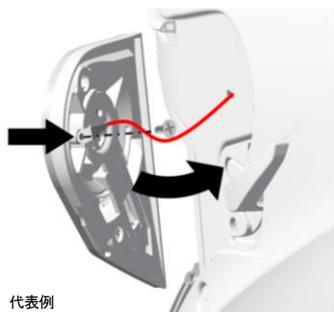
代表例

注意

電気配線を直接引っ張らないでください。配線が損傷するおそれがあります。

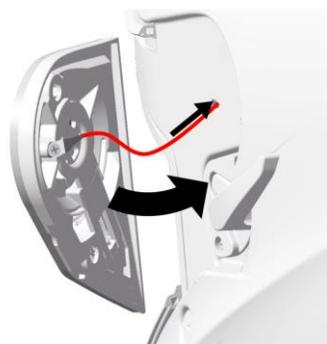
5. 新しいメカニズムを手に取り、図のように、ネジを 0.3 Nm のトルクで締め付けて電気配線を接続します。

ねじを完全に締め付けたら、接続部に遊びがないことを確認します。



代表例

6. 配線を慎重にヘルメットに戻します。配線のほぼ全体がヘルメット内に入ったら、メカニズムを配置して 3 つのねじを元に戻します。0.4 Nm のトルクでねじを締め付けます。



代表例

注意

メカニズムとシェルに間に配線を挟まないようにしてください。ねじを締めすぎないでください。損傷するおそれがあります。

7. 反対側についても手順 2~6 を繰り返します。

8. フェイスシールドを、このマニュアルの「7.フェイスシールド」のセクションに記載されているように戻します。



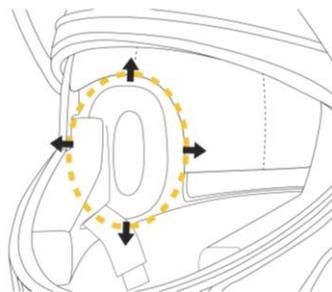
9. ヘルメットを車両に接続してクイック機能テストを行い、すべてが正常に機能し、バイザーが加熱され始めていることを確認します。

B. ヘルメット

11. ノイズコントロールシステム

ヘルメットには、ノイズ低減イヤerpッドが装備されています。下記の手順に従ってパッド位置を調整し、希望する快適な状態にすることができます。

- ヘルメットを逆さまにして、バイザーが下を向いた状態にします。
- パッドがベルクロ（マジックテープ）によって所定位置に正しく保持されていることを確認します。
- ヘルメットを、「2.正しい着用」のセクションに記載されているように着用します。
- 理想的なパッド位置を決めます。
- ヘルメットを脱いで逆さまにし、決めた位置に合わせてパッドを調整します。
- 必要に応じて、パッドの裏に付属のフォーム材（厚さ 3 mm）を追加して厚さを調整し、より良いフィット感が得られるようにすることもできます。
- 必要に応じて、希望の快適さが得られるまで手順を繰り返します。



圧力がまだ強すぎると感じる場合は、ヘルメットから NCS を完全に取り外してもかまいません。ノイズ低減を除き、フィット感が適切であればヘルメットの性能に影響することはありません。

⚠ 警告

常に音に警戒してくださいーヘルメットによって音が聞こえにくくなる場合があります。

ヘルメットは、聴覚保護装置ではありません。

12. インナーライナー

ADVEX ヘルメットの交換式インナーライナーは洗濯することができ、優れたフィット感とヘルメットの通気性向上の両方をもたらします。密度が 2 倍のチークパッドは固有の 3 次元形状を有しており、ヘルメットが頬の周りに心地よくフィットするようになっています。また、ヘッドライナーが頭の周りの最適なフィット感を実現します。

内側に取り付いている部材はすべて、皮膚に優しい素材で作られています。チークパッドとヘッドライナーに使用されている素材には、抗微生物処理が施されています。

ライニングを取り外すときは、チークパッドを最初に取り外してから、ヘッドライナーパッドを取り外す必要があります。ライニングを取り付けるときは、ヘッドライナーパッドを挿入してからチークパッドを取り付けなければならないことを覚えておいてください。

パッドサイズ

ヘルメットサイズ	XS	S	M	L	XL	2XL	3XL	
チークパッド厚さ	35 mm	30 mm	25 mm	35 mm	35 mm	30 mm	20 mm	
ヘッドライナー厚さ	上部	16 mm	16 mm	16 mm	16 mm	12 mm	12 mm	12 mm
	頭頂部	18 mm	16 mm	16 mm	18 mm	8 mm	6 mm	6 mm

B. ヘルメット

12. インナーライナー

チークパッドの取り外し

1. フェイスシールドが開位置の状態
で、チークパッドをヘルメット内側に
引き、Velcro™（マジックテープ）と
3つのスナップ固定部を外します。



2. チンストラップをスライドしてチー
クパッドのノッチに入れます。

3. もう一方の側に対して同じ手順を
行います。

チークパッドの取り付け

1. チークパッドを取り付ける前に、右
側と左側を特定します。



2. 3つのスナップ固定部を固定し、
Velcro™（マジックテープ）の上部を
所定位置に固定します。ストラップが、
チークパッドのノッチ内の所定位置に
あることを確認します。

3. もう一方の側に対して同じ手順を行
います。

ヘッドライナーの取り外し

1. まず、ヘッドライナーの後部を取
り外します。ヘッドライナーは、
（首の各側にある）2つのスナップ固
定部でインナーシェルに固定され、
前部は3つのプラスチックストリッ
プで固定されています。



2. その後、3つのスナップ固定部を引
くことで前部を取り外すことができ
ます。これらは、慎重に引き出すこ
とで取り外すことができます。



前部については、プラスチックスト
リップの片側から引き始めてくださ
い。

B. ヘルメット

13. インナーライナー

ヘッドライナーの取り付け

1. 前部のプラスチックストリップを、インナーシェルに取り付けられているもう一方のプラスチックストリップのノッチの下に差し込みます。



2. 次に、ヘルメット内にヘッドライナーを配置します。

3. そして、首の部分に2つのスナップ固定部を固定します。



警告

インナーライナーの一部が外れた状態では、絶対に運転しないでください。

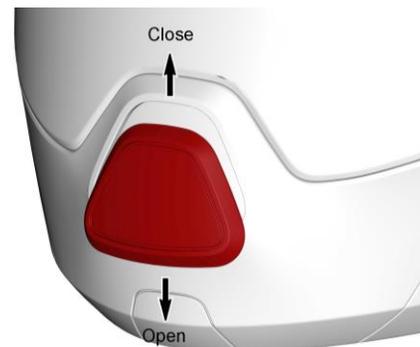
注意

インナーライナーとインナーシェルの損傷を防止するため、ヘルメットをミラーやハンドルバーグリップに掛けないでください。

14. 通気システム

ADVEX ヘルメットには、調整可能な2ウェイ通気システムがあります。必要に応じて、空気の流れを調整することができます。

1. 前側のベントは2つの位置に調整可能です。スライドボタンが一番上の位置にあるときは、ベントが閉じています。スライドボタンを下位置にすると、ベントが完全に開きます。



2. 開位置：下側のベントは3つの位置に調整可能です。両方のスライドボタンを「≡」位置にすると、空気が自由に循環します。

3. 閉位置：両方のスライドボタンを「☒」位置にすると、空気が循環しません。

4. 中間位置：両方のスライドボタンを中間位置にすると、下側ベントが50%開いた状態になります。



B. ヘルメット

14. 通気システム

いずれの場合も、通気システムにより、空気の流量を増減して好みの快適さにすることができます。

注意: 車速、ウィンドシールド、頭の回転は、ヘルメット内の空気の流れに影響します。

C. 着用と使用

1. ヘルメットの着用方法

1. サンバイザーがヘルメットシェル内に格納されていることを確認します。
2. ネックカーテンを外側に開き、開口部を何も無い状態にします。
3. ヘルメットのフェイスシールドを開位置まで回します。
4. チンストラップとチンストラップコンフォートパッドを解除します。
5. 両方のチンストラップをつかみ、離します。
6. これでヘルメットを簡単に着用できるようになりました。
7. チンストラップを接続して締め付けます。
8. チンストラップがあごの下を通過しており、ぴったりとフィットしていることを確認します。
9. ネックカーテンを閉じます。
10. バイザーとチンを閉じます。
11. ヘルメットのフェイスシールドを下から押し上げ、しっかりロックされていることを確認します。
12. チンフラップを（磁気で）ネックカーテンに取り付けます。

2. 適切な着用

警告

適切でないサイズのヘルメットを着用すると、事故の際に重傷を負ったり死亡したりするリスクが高まります。頭に対して大きすぎるヘルメットは、事故の際に脱げたり飛ばされたりする可能性があります。

頭に適したサイズのヘルメットを選択するには、次の手順に従います。

1. ヘルメットの試着

両方のチンストラップをつかみ、頭に対してヘルメットをしっかり引き、頭の一番上がヘルメット内の一番上の部分に接触していることを確認します。使用するすべての保護機能（目出し帽、ネックチューブ）をヘルメットで試してみます。

2. 適切な着用の確認

ヘルメットが適切なサイズであるか確認するため、次のことを点検します。

- ヘルメットのインナーライナーが頭の周りにぴったりフィットしている。
- 一番上のパッドが頭をしっかり押さえている。
- チークパッドが頬に接している。

インナーライナーの下の額の周りに空間がない。これは、指を差し込んで確認してください。ヘルメットがぴったりとフィットしていない場合は、小さめのサイズを試してください。

理想的な調整状態になるまで、この手順を数回繰り返さなければならぬ場合があります。

3. 視界の確認

ヘルメットによっては、左右上下を見るときに障害物があったり、視界が妨げられたりする場合があります。

警告

車両を安全に運転するために、十分に見えることを必ず確認してください。

C. 着用と使用

2. 適切な着用

4. ヘルメットのフィット感のテスト

手をヘルメットの両側に当てます。頭をできるだけ動かさない状態で、ヘルメットを左右そして上下に回そうとしてみてください。ヘルメットを動かそうとすると、頭や顔の皮膚でヘルメットが動いているのを感じるはずです。

そのように感じない、またはヘルメットのパッドが頭の上でスライドしているのを感じる場合は、ヘルメットが大きすぎます。ヘルメットがきついまたは痛みを感じる場合は、ヘルメットが小さすぎます。



5. チンストラップを締める

あごの下で、ストラップの緩みがなくなるまでストラップを締め付けます。ストラップがあごにしっかり当たっていなければなりません。

6. チンストラップのフィット感のテスト

- 両手をヘルメットの後部に当て、ヘルメットを前方へ回し、押し外そうとしてみてください。
- 両手をヘルメットの前部、額の上辺り（またはチンガード）に当て、押ししてみてください。
- ヘルメットが脱げるようであれば、別のサイズまたはモデルのヘルメットをお試しください。

ヘルメットが頭にぴったりかつしっかりとフィットするまで、手順 1～6 を繰り返します。

3. ヘルメットの脱ぎ方

1. サンバイザーが格納されていることを確認します。
2. ネックプロテクターを外側に動かし、開口部を何も無い状態にします。
3. ヘルメットのフェイスシールドを開位置まで回します。
4. チンストラップとチンストラップコンフォートパッドを解除します。
5. 両方のチンストラップをつかみ、離します。
6. これで、ヘルメットが簡単に脱げる状態になりました。

ヘルメットを置く場所の物が傷付かないようにするため、ヘルメットを脱いだ後はチンストラップを締めておくことをお勧めします。

4. 使用上の諸注意

電源ケーブルの接続

車両のサービスマニュアルを参照して最も良い接続ポイントを決めることができるように、BRP 認定ディーラーにヘルメットのケーブルの接続を依頼するよう強くお勧めします。

1. 車両の接続

- 接続を目的とした車両の電源出力部（別売）を経由します。詳細は、BRP 認定ディーラーまたはディストリビューターにお問い合わせください。

⚠ 警告

既存の回路への過負荷を防止するため、ヘルメットを別の電装アクセサリ（グリップヒーターなど）に接続しないことが重要です。接続すると、火災を引き起こすおそれがあります。

C. 着用と使用

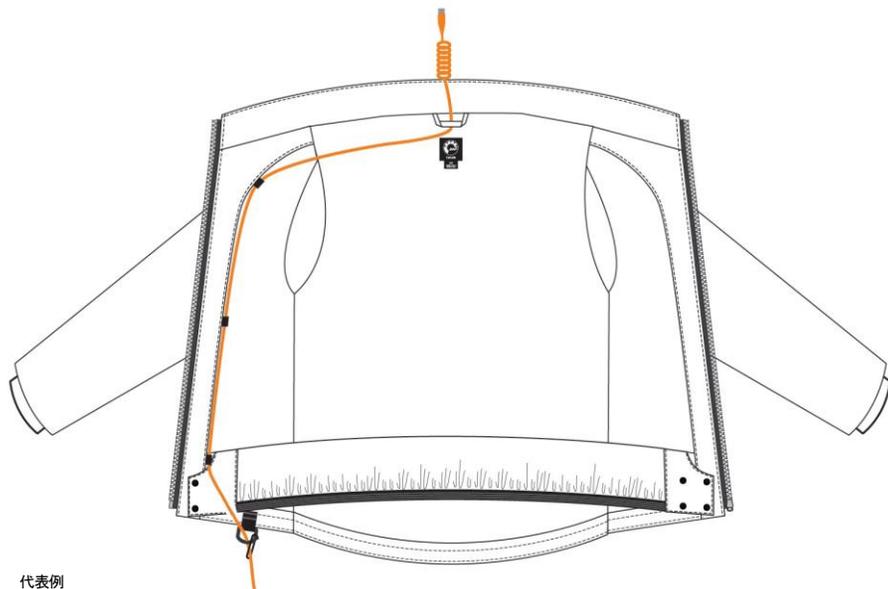
4. 使用上の諸注意

2. 電源ケーブル（車両側）

- 車両の電源ケーブルをメインの電源出力部に接続し、今後の使用のためにそのままにしておきます。

3. RCA 電源ケーブル

- 次に、ライディングウェアをきれいな面に置き、電源ケーブルを図に示すように取り回します。



代表例

4. 最終接続

- 電源ケーブルを所定位置に取り回したら、ウェアを着用し、ジャケットのキーリングがある側に応じて、電源ケーブルを左腕または右腕の下に通します。
- ヘルメットを、このマニュアルの「1.ヘルメットの着用方法」のセクションで説明されているように着用します。
- 首の後方で電源ケーブルをつかみ、ヘルメットの接続ハウジングまで近づけます。
- 次に、ケーブル端をつかみ、車両の電源ケーブルに接続します。

⚠ 警告

ケーブルが可動部品から離れていることを確認してください。電源ケーブルを車両内でもつれさせたり、もつれた状態で走行したりしないでください。BRP 認定の延長コードのみを使用してください。ケーブルが損傷した場合は、使用を中止してください。損傷したケーブルは破棄し、新しいOEMのBRPケーブルと交換してください。

⚠ 警告

ヘルメットに含まれている磁石は、ペースメーカーなどの電子機器の動作を妨げる可能性があります。本製品を着用する前に医師にご相談ください。

また、クレジットカードの磁気テープにも影響する可能性があります。

D. 走行前に

1. ヘルメットの点検

ヘルメットに損傷がないか、定期的に点検してください。表面の小さな傷によってヘルメットの保護機能が損なわれることはありません。

⚠ 警告

深刻な損傷（亀裂、へこみ、剥がれ、塗料の割れなど）の場合、そのヘルメットは使用すべきではありません。

2. チンストラップの点検

1. チンストラップがあごの下を通過することを確認します。

2. 人差し指をあごとチンストラップとの間に差し込み、引いてください。

チンストラップがあごの下で緩んでいる場合は、長すぎるため締め付ける必要があります。引っ張ったときにチンストラップが緩む場合は、正しく締め付けられていません。チンストラップを元に戻し、もう一度締め付けてください。その後、点検を繰り返します。

3. チンストラップがあごにしっかりフィットするようにチンストラップを締めることができない場合は、ヘルメットが適切なサイズであるか確認してください。

各調整の後に、点検を繰り返してください。

⚠ 警告

チンストラップを締めていないまたは正しく調整していない状態で運転しないでください。チンストラップは正しく締める必要があります、引っ張ったときに緩んではなりません。

引っ張ったときにチンストラップが緩む場合は、ファスナーが正しく締められていません。

3. フェイスシールドとサンバイザーの点検

輸送時に使用された保護フィルムは、使用前に取り外してください。

運転前に、フェイスシールドとサンバイザーのメカニズムが正常に機能していること、およびフェイスシールドとサンバイザーを通して十分クリアな視界が得られることを確認します。汚れがあれば、運転前に除去してください。

フェイスシールドとサンバイザーに物理的な損傷や亀裂がないか確認します。

フェイスシールドの深刻な傷は、視界を著しく低下させるため、出発前に交換する必要があります。

⚠ 警告

夜間の運転やトンネル走行時に、視界不良の状態に変色したフェイスシールドやサンバイザーを絶対に使用しないでください。

⚠ 警告

傷付いたまたは汚れているフェイスシールドは、視界を著しく低下させます。
安全のため、交換するか汚れを直ちに除去してください。

⚠ 警告

フェイスシールドとサンバイザーが常に良好な状態であることを確認してください。
損傷したフェイスシールドは運転に適していないため、交換する必要があります。

⚠ 警告

視界不良の場合は運転を中止してください。

E. その他の重要情報

1. 改造/アクセサリ

⚠ 警告

元の部品（特にアウトシェル、インナーシェル、および拘束システムの部品）は、変更したり取り外したりしないでください。

承認されていないアクセサリの取り付け、またはヘルメットの改造は、保護効果を低下させることがあるため、承認が無効となり、すべての保証や保険請求も無効になります。

BRP がヘルメット用に明示的に承認している元の部品、交換用部品、およびアクセサリのみを使用してください。

ヘルメットの改造は保護能力を低下させ、事故の際に重傷を負ったり死亡したりするリスクが高まります。

改造には次のものが挙げられます。

- ドリルで穴を開ける
- シェル、ストラップ、または衝撃吸収ライナーの切断
- 衝撃吸収ライナーの圧縮
- チンカップの追加など、拘束システムの改造
- 部品の取り外し
- 塗装
- 接着剤の使用
- 未承認のアクセサリの取り付け

2. 凍傷

⚠ 警告

凍傷とは

凍傷は、皮膚または皮膚の下の身体組織が凍ることであると定義されます。これは、軽度の寒冷下に長時間さらされたり、極度の寒冷下に短時間さらされたりすることで生じる低温熱傷です。

凍傷を引き起こすものとは？

凍傷の発生に寄与する要因には、以下に示すようなさまざまなものがあります。

- 人が低温にさらされている時間の長さ
- 外部の温度
- 風の力（体感温度）
- 空気中の湿度
- 衣服の濡れ
- 以前の凍傷

凍傷の防止方法

- 非常に寒い天候の際は、長時間の外出を控える。
- 目出し帽、ネックチューブ、フェイスマスク、およびそれらの組み合わせなど、頭に着用するものを追加する。
- 衣服が濡れたら直ちに着替える。
- 凍傷の兆候がないか頻繁に確認する（赤いまたは血色の悪い皮膚、チクチクする痛み、無感覚）。
- 寒冷下での外出時は、カフェイン、タバコ、アルコールを控える（これらのものは、皮膚の低温熱傷を助長する傾向がある）。

出典：

- 米国立衛生研究所ホームページ：

<https://medlineplus.gov/frostbite.html>

<https://medlineplus.gov/ency/patientinstructions/000866.htm>

F. お手入れとメンテナンス

⚠ 警告

ヘルメットのシェル、ライナー、またはバイザーを清掃するときは、絶対に石油系の薬品、溶剤、ガソリン、洗浄剤、または接着剤を使用しないでください。これらの製品を使用すると、ヘルメットのシェル、ライナー、およびバイザーに深刻な損傷が生じ、ヘルメットの全安全機能が保証されなくなります。

1. シェルの清掃

ヘルメットのシェルを清掃するには、水、石けん、または市販のモーターサイクル用シャンプー、クリーナー、研磨剤、プラスチッククリーナー、洗浄液を使用することができます。

通常は、水と石けんの使用で十分です。その他の洗浄剤は、バイザーやコーティングを損傷させる可能性があります。そのような洗浄剤を使用するときは、フェイスシールドに接触しないようにしてください。

2. 内部の清掃

ADVEX ヘルメットのインナーライナーは、完全に取り外すことができます。

ヘッドパッドとチークパッドは、中性の石けん水（一般的な中性洗浄剤をよく薄めたもの）を使用して、30 °C 以下の温度で手洗いすることができます。

手洗いをお勧めしますが、洗濯機で洗うこともできます。洗濯機のアジテーターによって、ライナー部分を覆っている汗を逃がさない素材が傷まないように、「穏やかな」洗濯サイクルをお選びください。ライナーは、常温でよく換気された場所で乾燥させてください。

⚠ 警告

ライナー部品を乾燥機にかけないでください。過剰な熱により、フォームやカバーが損傷することがあります。

3. フェイスシールドの外側

ヘルメットのシールドは、両側に曇り止めや傷防止コーティングが特別に施されています。

シールドを洗う際は、ぬるい中性の石けん水を使用してください。

シールドの拭き取りには必ず柔らかいきれいな布を使用して、表面の傷付きを防止してください。

シールドを清掃するときは、絶対に石油系の薬品、溶剤、ガソリン、洗浄剤、または接着剤を使用しないでください。

4. 加熱式レンズ

フェイスシールドの内面は、柔らかい布のみで清掃してください。布は、必要に応じて若干湿らせてもかまいません（マイクロファイバークロスをお勧めします）。

⚠ 警告

洗浄剤は使用しないでください。

F. お手入れとメンテナンス

5. サンバイザー

5.1 サンバイザーの清掃

サンバイザーは、柔らかい、必要に応じて若干湿らせた布のみで清掃してください（マイクロファイバークロスをお勧めします）。

清掃には、（20℃未満の）ぬるま湯のみを使用してください。どのような場合でも、フェイスシールドやサンバイザーを清掃するときは、絶対に石油、溶剤、ウィンドウクリーナー、ガラスクリーナー、アルコールを含有するその他の洗浄剤を使用しないでください。

フェイスシールドは、外側がひどく汚れていても水に浸さないでください。水に浸すと表面の硬さが著しく低下するため、曇り止め/傷防止コーティングの耐久性も低下します。

ラベル、粘着テープ、またはステッカーをフェイスシールドやサンバイザーに絶対に貼らないでください。

フェイスシールド外面の頑固な汚れ（虫が当たって乾燥したものなど）は、湿らせた布でバイザーを約30分～1時間覆って柔らかくすることで簡単に除去できます。

6. ヘルメットの点検

ヘルメットの損傷がないか点検します。ヘルメットが損傷したり割れたりしている場合は、直ちに使用を中止して交換してください。

部品の摩耗や損傷がないか点検します。プラスチック部品は、時間とともに劣化することがあります。摩耗または損傷した部品があれば、交換するか、新しいヘルメットを購入してください。部品の交換については、「交換用部品」のセクションを参照してください。

⚠ 警告

重傷や死亡事故の危険を減らすために、走行前に必ずヘルメットを点検してください。

使用およびお手入れの状況によっては、購入してから3～5年後にヘルメットを交換する必要があります。原理上、アウターシェルは耐用年数は長いものですが、他の部品の材料疲労や摩耗の発生、さらには、ヘルメットの全体的な取り扱いやヘルメットが使用されていた未知の条件を考慮すると、ご自身の安全のために、この使用期間後にはヘルメットを交換するようお勧めします。

過剰な熱（排気熱）は、ヘルメットの外観、ヘルメットのインナーシェル、および内部のライナーを損傷させることがあります。

7. ヘルメットの保管

- ヘルメットは涼しい乾燥した場所に保管してください。
- ヘルメットはペットなどの動物から離しておいてください。
- ヘルメットを50°C（122°F）を超える熱から遠ざけてください。高温表面の近くには置かないでください。
- ヘルメットバッグの中でヘルメットを保管してください。

⚠ 警告

不適切に保管されたヘルメットは、損傷する可能性があります。

G. トラブルシューティングガイド

問題	対処法
メインバイザーが発熱しない、またはメインバイザーに曇りが発生する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ヒーター付きバイザーが損傷していないか点検します。 必要に応じて交換します。 2. 電源ケーブルが車両とヘルメットに正しく接続されているか確認します。 3. フェイスシールドを取り外し、2つのレンズ間の曇りが検知されるようにバイザー内部のレンズが正しく密閉されているか確認します。必要に応じて交換します。 4. 車両（420 W マグネトーを装備した BRP スノーモービルなど）によっては、アイドリング中に負荷制限が発生した可能性があります。エンジンを高めの回転数（RPM）で数分間作動させると、メインバイザーのヒーターがオンになります。負荷制限から回復するのに要する時間は、バッテリーの状態や車両モデルによって異なることにご注意ください。 問題が解決しない場合、詳細については BRP 認定ディーラーにお問い合わせください。
ヒーター付きバイザーが曇っている	<ol style="list-style-type: none"> 1. 異常な状況においては、曇り止めコーティングの面に曇りが発生する場合があります。これは、下記の手順に従うことで簡単に解消され、再発することはありません。 <ol style="list-style-type: none"> a. 柔らかい布をぬるい石けん水で湿らせます。 b. 軽い力で清掃し、自然乾燥させます。 c. 拭き取って乾燥させるのではなく、自然乾燥させてください。 d. 必要に応じてこの手順を繰り返します。 2. 問題が解決しない場合は、2つのレンズ間に曇りがないか確認してください。 2つのレンズ間に曇りがある場合、詳細については BRP 認定ディーラーにお問い合わせください。
サンバイザーが機能していない	<ol style="list-style-type: none"> 1. サンバイザーがヘルメット上の正しい位置に配置され、固定されていることを確認します。 2. 破損している部品がないか確認します。 必要に応じて、新しい部品と交換します。 3. 問題が解決しない場合、詳細については BRP 認定ディーラーにお問い合わせください。
フェイスシールドラッチでの氷結	<p>ネックカーテンが正しく閉じられることを確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「カチッ」という音が聞こえる/感じられるはずです。
後部ライトが機能していない	<p>車両への電気接続が機能していることを確認します。</p>
ライト（別売）が機能していない	<ol style="list-style-type: none"> 1. フラッシュライトを開けます。 2. Vibe 通信システムが取り付けられている場合：充電されていることを確認します。ボイスシステムが取り付けられていない場合：バッテリーを確認します。 必要に応じて、バッテリーを新しいものと交換します。 3. バッテリーソケットの電氣的接点が損傷したり汚れていたりしていないか確認します。 電氣的接点を清掃するか、必要に応じてフロントユーティリティライトを交換します。 4. 問題が解決しない場合、詳細については BRP 認定ディーラーにお問い合わせください。

H. アクセサリーとスペアパーツ

利用できるアクセサリーとスペアパーツの概要をインターネット上で確認できます (<http://store.ski-doo.com/>)。

⚠ 警告

安全上の理由から、特定のヘルメットの場合は、いずれのアクセサリも BRP が承認したものでなければなりません。

⚠ 警告

BRP が提供する交換用部品以外の交換部品を使用すると、重傷を負ったり死亡したりするリスクが高まります。このヘルメットで機能するように特別に設計された部品のみを使用してください。BRP では、いずれの交換部品も BRP ディーラーに取り付けを依頼するよう推奨しています。

⚠ 警告

ヘルメットを絶対に改造しないでください。ヘルメットの改造は保護能力を低下させ、重傷を負ったり死亡したりするリスクが高まります。

1. アクセサリー

BRP の純正アクセサリーは、BRP 認定ディーラーでお求めいただけます。最寄りの BRP ディーラーを探すには、BRP のウェブサイトのディーラー検索機能をご使用ください：www.brp.com

2. 交換用部品

BRP の純正部品は、BRP 認定ディーラーでお求めいただけます。最寄りの BRP ディーラーを探すには、BRP のウェブサイトのディーラー検索機能をご使用ください：www.brp.com

注意: ご利用いただける交換用部品の詳細については、当社のウェブサイト (<http://store.ski-doo.com/>) でご確認ください。

I. BRP のサービス

1. 修理サービス

ADVEX ヘルメットは、最新の開発および生産手法を用いて設計および製造された、高品質の BRP 製品です。ヘルメットの修理が必要な場合は、最寄りの BRP 認定ディーラーまたはディストリビューターにご相談ください。

ご依頼を受け付けた後、BRP は内容を検討するため、分析が完了するまではご依頼内容の完了が遅れる場合があります。

元の不具合について明確に説明した場合であっても、修理中に BRP がさらなる不具合を発見した場合は、ヘルメットの正常な機能の回復に必要であれば、BRP は個別の注文なしでその不具合を修理する場合があります。

2. 限定保証

BRP 認定ディーラーでヘルメットをご購入いただいた場合、ご購入いただいた製品には、製造上の欠陥に関する限定保証が付きます。

限定保証期間は、購入日から 4 年間です。保証請求を行う場合は、最寄りの BRP 認定ディーラーにご相談ください。

その際、請求内容に関する詳しい説明とレシートのコピーをご提示いただくようお願いいたします。

J. お問い合わせ先

北米

565 de la Montagne Street
Valcourt (Québec) J0E 2L0
カナダ

Sturtevant, Wisconsin, U.S.A.
10101 Science Drive
Sturtevant, Wisconsin
53177
米国

Sa De Cv, Av. Ferrocarril 202
Parque Ind. Querétaro, Lote2-B
76220
Santa Rosa Jáuregui, Qro.
メキシコ

オセアニア

6 Lord Street
Lakes Business Park
Botany, NSW 2019
オーストラリア

南米

Rua James Clerck Maxwell, 230
TechnoPark Campinas
SP 13069-380
ブラジル

アジア

〒210-0005神奈川県
川崎市川崎区東田町8
パレール三井ビルディング15階
日本

Room Dubai, level 12, Platinum Tower
233 Tai Cang Road
Xintiandi, Lu Wan District
Shanghai 200

ヨーロッパ

Skaldenstraat 125
B-9042 Gent
ベルギー

Itterpark 11
D-40724 Hilden
ドイツ

ARTEPARC Bâtiment B
Route de la côte d'Azur, Le Canet
13590 Meyreuil
フランス

Ingvald Ystgaardsvei 15
N-7484 Tronheim
ノルウェー

Isoaavantie 7
PL 8040
96101 Rovaniemi
Formvägen 16
S-906 21 Umeå
スウェーデン

Avenue d' Ouchy 4-6
1006 Lausanne
スイス

最寄りの BRP 認定ディーラー/ディストリビューターについて、または BRP 製品の詳細については、当社のウェブサイトを (www.brp.com) をご覧ください。

© ™ および BRP ロゴは Bombardier Recreational Products Inc. またはその関連会社の商標です。

© 2023. Bombardier Recreational Products Inc.

BRP_20230101_R00JP